



せるために、トナカイ観光牧場で観光客を増やすイベントとして、トナカイの写真コンテストをし、入賞した人に景品をあげるというような事をしてみたら良いと思います。

答弁要旨

幌延町の人口は、今から六十年以上前、約七千五百人だったのをピークに、今では二千四百人まで減ってしまいました。そこで、何とか人口の減少を止め、まちに賑わいを取り戻すための取組みを少しずつ始めています。たとえば、子育てがしやすいまちにするため、子どもたちの病院代を無料にしたり、幌延町に移り住みやすいような環境を整えたり、観光をもっと充実してまちの魅力をた

くさんの人に伝える工夫を、まちのみんなで考えようとしています。

トナカイの写真コンテストもとても良い考えだと思っています。将来の幌延町を担うみなさんの考えを、もっと聞く機会をつくりたいと思います。



はやさか 早 愼

質問要旨

納税の返礼品は、秘境駅名ストラップ、秘境駅マグカップ、秘境駅のマウスパッドなどがありますが、他の町では地場産品を返礼品にしている、とても好評だと思っています。幌延町は酪農が盛んなので、チーズやバターなどの乳製品を返礼品にすれば、寄付金額が増え、そのお金で色々な活動ができると思います。

答弁要旨 ふるさと納税の返礼品の中には、幌延町の地場産品の合鴨製品があります。町にある安心生産農園で化学物質を使わずに飼育した合鴨の肉は、とてもおいしくヘルシーです。

幌延町は酪農のまちです。ご指摘のあったように、今、雪印メグミルクの製品を返礼品に加えようと準備をしています。き

っとたくさんの人に喜んでもらえると思っています。特にバターは、幌延の工場で作られていますので、地場産品として宣伝できればとても良いと思っています。



あかね の 野 朱

質問要旨

昨年、学校の授業で西天北リサイクルプラザの見学に行きました。その時、その埋立場は、平成二十九年で埋まってしまうと聞きました。平成三十年以降はどのようなのですか。また、ゴミを増やさないために、リサイクルの活動を強化すると良いと思います。

答弁要旨 ゴミの埋め立て地は、当初計画では平成二十九年十一月に満杯になると予測していましたが、現時点では平成二十九年二月には満杯になる調査結果であることから、今の埋め

立て地の壁の部分をもっと高くして、さらに六年から七年はもつように関連工事を進めています。

また、ゴミを増やさないようにするためには、今後もリサイクル活動を継続的に、さらに効果的に何ができるかを話し合い、強化することが大切と考えています。その一つとして、現在はまだ計画段階ではありますが、資源ゴミの紙おむつと木材を混ぜ合わせて、ペレットという燃料を作り、専用のストーブやボイラーに使用することで、使用済みの紙おむつをエネルギーとして活用できるようにと考えています。



やぎぬましゅん た ろ う 柳 沼 駿 太

質問要旨

ぼくは宮園団地に住んでいますが、地震が起きて津波がくるといった時に、スキ―場に逃げるのが良いと考えています。津波が起きたときの実際の避難場所はどこになっていますか。また、避難場所を看板などで分かりやすくした方が良

いと思います。

答弁要旨

北海道が示した津波想定では、幌延市街地まで波が来ることは想定されていないため、津波が起きたときの避難場所は特に決めています。しかし、今後どのような規模の災害が発生するかは分かりませんので、想定し得る最大限の規模の災害に対応できるよう、色々な対策を検討していかなければならないと考えています。

幌延町で配付している防災マップには避難場所を記載しており、避難場所には看板も設置しておりますが、町ホームページや広報誌などを活用して、さらにわかりやすく、町民の皆さんにお知らせができるよう検討していきたいと考えています。

